



Ragnarok Online Fanbook

姫騎士 伝説 2

DOJIN
成人向け
R-18



登場人物 および
前回までのあらすじ

リユートはFリーグランツィオ
騎士団に所属するルーンナイト
イルティナの恋人、婚約者。
小隊の隊長でもある。
現在は部下を引き連れ
異世界へ遠征中。

イルティナはDストリクト

両手剣使いのロードナイト。
コロボットを愛用しており、
その美しい容姿も相まって
周囲からは「姫騎士」と呼ばれている。

タイムシステムがモンスターにも可能になった世界

モンスターたちは好みの女性を「ペット」として捕獲しては、
性玩具や繁殖の苗床として「飼う」ようになった。
タイムされた人間は、主に逆らうことは出来ず、命令には絶対服従となる。

オーク「ボバ」

イルティナをタイムしたオーク。
以前から彼女を狙っていた。
オーク族の例に漏れず、性欲旺盛。



イルティナもまた、ある日突然、オークのボバにタイムされてしまう。
このオークは彼女を手に入れたいと狙っていたのだ。
念願叶い、興奮するボバ。

イルティナは得意の剣技で撃退しようとするが、力が抜け剣を振るえない。
無抵抗となった彼女に対し、オークは積年の肉欲をその場で吐き出す。

容赦ない陵辱――。

転生を経て純潔に戻っていた彼女の体だったが、
恋人リユートに指一本触れられぬまま、オークによって汚されてしまう。

ボバはそれでも満足せず、
自分の村へとイルティナを拉致する。

イルティナはただ、
恋人リユートの救出を待つしかできない。
抵抗も逃走も出来ないのだ。

こうして、オークとの生活が始まった――。

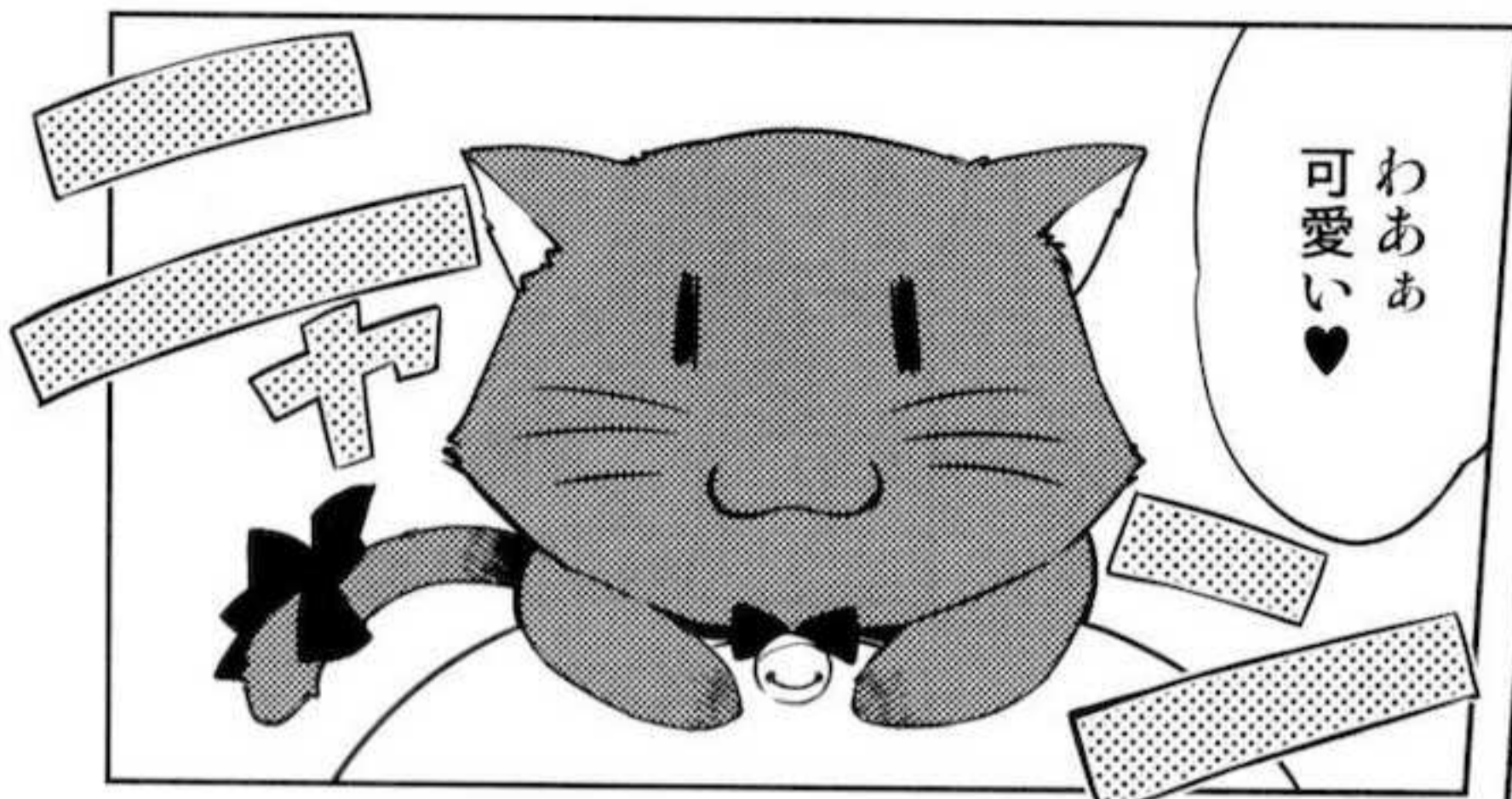


腹ごしらえした後
また可愛がって
やっがらな♡

わかれ

リユート
どうしよう……
助けて

助けて
リユート



わああ
可愛い♥

リユート
こっちこっち!
今度はこのお店
見てみよ?

まっしてくれよ
イリイ



「今話題の
ニブル Heim 特産品」
だって!
同期の子たちの間でも
話題なんだよコレ!
ねえ
似合うと思う?

そうだね
げっ!?

結構するんだな
……



昇進祝いにも何でも好きなもの
買ってくれるって約束でしょ
リユート“先輩”?

はは
まいったな
給料前なのに





えー?
そうだなあ……

じゃあ
リュートが選んでよ
私に似合いそうなの♪



うん
似合ってるよ

これ
似合うかな?



良いと思うよ

これは
どうかかな?



いや
本当なんだけど
……

もうっ
適当に答えてる
でしょ



俺が一生
添い遂げて守る
俺だけの……ね

え
それって……



コロネット
イルティナは俺の
お姫様だからね



こんなの
はどうかな



ただちよつと
ワガママでじゃじゃ馬な
困ったお姫様だけどな



ホントにそれで
良かったのか?



あはは
リユート
こつちこつち!

おおいっ
イリイ



欲しいなら
あの黒猫でも
……

いいの!
こつちがいい!

だからね
……?

私がピンチになったら
助けに来てね

王子様
♥



事件のおよそ半月後
オーク"ボバ"の家

今更
何言ってるだ

またたつぷり
種汁注ぎ込むからな
姫様♥





やあああ
やあああ



あー
気持ちええ♥

何度抱いても
飽きねえな
姫様は♥



ほんとに
本当にタイムして
良かったあ♥

おっ



この
卑怯者!

しっかりし
騎士様ってのも
大変だなあ？

こつたな
スケベな身体もてあましてる
許嫁一人残して
お務めせにやいけねえとはよ

す
す

Kn!

Kn!

そうやってられるのも
今のうちよ

きつともうすぐ
リユートが助けに来て
くれるんだから

いい色具合に
熟れてきたなあ♥

おは

リユート

お前エの「王子様」
なんだっけか

だども
難しいと思うぞ？

この隠れ里はまだ人間に
知られてないからな

ヴァルキリー様でもない限り
そう簡単にや見つからねえ

そんなこと無いわ！
リユートなら必ず
見付けてくれる！

あんたの命なんか
それまでよ！

ほ
そりやおつかねえ

ぐ

ぐ

...



あー
なんちゆう乳だ
たまんねえ……♡

はよ母乳さ
でねえかなあ

姫様の母乳
腹一杯飲んでえ♡



まあオラは
お前さのボテ腹
拝むまでは

死ぬつもり
ねーけど



王子様の
お迎えが来るまでは
二人つきりだからよ

ほれ♪
いつものヤツで
気持ち良くしてくれえ♡

いつ嫌よ!
あんな恥ずかしいこと
二度とやるもんですか!

子作り
しようなあ♡
それまで
たっぷり

MILK♡

悔しいけど
こいつの命令に
逆らえない……

剣よりも
チ○ポのほうが
扱い慣れたんでねえか？

リユートにだって
してあげたこと
ないのに――

ぬ
ちゅ

ぬ
ちゅ

ぬ
ちゅ

あゝ
気持ちええ
姫様のパイずり♡

ほちやほちやして
あつたけえ♡

ほれっ
口も使って
奉仕するだ

タイムされて
いなければ
こんな奴――!!

そうだ
上手えぞ♡

なんて
禍々しい形なのがしら

まるで
別の生き物みたい

汚くて臭くて



リユートのより
ずっと長い……

太くて長い……

はぁ……

おやあ

私を抱いている間は
何度射精しても
ずっとカチカチに
勃起したまま

まるで射精しながら
精液を作ってるみたい

すごい精力——

人間とは
全然違う

はぁ
はぁ
はぁ

はぁ
はぁ
はぁ

ちゅん
ちゅん
ちゅん

女を
孕ませることに
特化した
本物の生殖器

これがオークの

私の「初めて」を
全て奪った
オチ○チン……

お汁が跳ねて
ものすごくエッチな
音……

お汁

そんなに
気持ちいいんだ
これ……

お汁

はあ
はあ

お汁!
お汁!

お汁
お汁
お汁

お汁



ごめんねリユート
恥ずかしくて
嫌がって……

してあげたら
よかったね……

おまおま

おまおま

やだ
あの表情



きつともうすぐ
射精すのね
いつも私の膣内に
するみたい

あの黄色くて
ねばったものを

お汁

お汁

お汁

お汁

お玉がキュンキュン
せりあがって
竿が膨れて
噴水みたいに

お汁

お汁

お汁



す……す……
すごい……
お乳の間に
熱いの

シューッ

おまおま

おまおま
おまおま
おまおま

いっぱい
はじけてる……

おまおま



あ……
えがったあ
……♡



姫様のデカ乳は
最高だなあ♡

女性の乳房は
赤ちゃんを育てるための
大切な器官よ
それをこんな……

こんな使い方
ひどいわ
……

は

おまおま

おまおま



こりやたんと
射精たなあ♡

ぬちゃ あああ



味わって
飲み込むだぞ♡



ほれ
口開けえ♡



それが胃に落ちて
私の一部となる

何度飲まされても
慣れない
酷い味

精虫をたつぷり含んだ
ゼラチンみたいな
オークの精液



ようけ口ん中で
混ぜ合わせてな

美味えが？



大切な
ご主人様の子種
だからなあ

なっ
何をすの!?

こんなものを
私は毎日

アಂತアが
剣技を見せろと言うから
していたのに——!

見てたら
またムラムラ
きちまってよ

汗に蒸れた
姫様の体臭
たまんねえなあ♥

ダメツ
ここじや
見られちやう

構わねえ
見せつけてやんべ♥

へっ
変態!

やっ
駄目

んんん
あああ

バカなこと言わないで!
侮辱するのも
いい加減にしないと

ぶりっぶりのケツ
右に左に揺らしてえ
本当は誘ってたんだべ?

あ
いまつと怒れ
たんと怒れえ♥

その度に
瞳さキュウキュウ
締め付けてくる♥

あ
本当に
めんこいなあ♥



ほおれ♪
姫騎士様の
貴重な子作り
お披露目だあ♪

あんなことが
いざなないや!!

ジッ!

ジッ!

ジッ!

へへ!



チクシヨオ
ホバのやつ
上手いこと
やりやがって
あの姫様を
孕ませ放題か

あの
プリツプリの体
たまんねえ♥

くっそお
オラも姫様に
種付けしてえ♥

孕ませてえ♥



うおっ
なんちゅうウシ乳だ
騎士なんて
もったいねえ
繁殖にもってこいの
体でねえか♥

姫様の金髪
ツヤツヤだあ♪

せめて
しゃぶってくれ
なあ?

お願い
お部屋で……
お部屋でして……

んだなあ♪
勢い余って皆に
輪姦されちまう
かもなあ♥

それじゃあ
ちやんとお願い
しねえとな?

お願いします
ご主人様
子作りはお部屋で
二人つきり
したい……です

よし
良く言えただな♥



かーあ♥

深い

当たってる

奥まで

長持ち良々
お嬢♥

オークは
見せびらかすように
私を連れ回り

その途中で
何度も射精した

私の体重で
子宮口と生殖器が
みっちり密着した状態で

キキキ♥

はん! はん! はん! はん! はん!



このオーク
ポバとの交尾
それが
タイムされた私の
強いられた日常

なあ
稚児さできるのいつ分かる？
つわりはまだ来てねえが？

早く
ポテ腹のお前さと
交尾してみてえ♥

何匹か産めば
乳さ母乳疲れて
垂れ下がって
桃色の乳首さどす黒く
染まっちゃうんだらうな

ちゅちゅちゅ

やっ
止めてよっ

細い体も
ぼつり肉さついて
だらしねえ樽腹に
変わっちゃうんだらうな

い嫌っ
オークの
赤ちゃんなんか
絶対に

絶対に
産まな……っ

お前さの体は
そう言っでない
みてえだぞ？
ハラハラ
コンコン



変えてやるからな
お前えの体をよ
お前えは
オラのペットだからな

その
リユートちゆう男にや
二度と見せられない

オラ好みの
スケベな体に

ぬめぬめ
あめあめ

「んんん」

作り変えて
やるだ♡

はあはあ♡
あめあめ♡
あめあめ♡

あめあめ!!
あめあめ!!
あめあめ!!



くろう♡
そんな締め付けるでねえ
まるでスッポンでねえか
そんなになら
子種さ欲しいか♡

姫様の
ぐちよ濡れお〇こ
最高だあ♡

やっぱり
気持ちええっ!!

きまっ♡

オークのに慣れたら
人間のは短小すぎて
もう戻れねえぞ?

すっかりオラのチ〇ホ
気に入っちゃまってえ♡

ほれっ♡
ほれっ♡

ウソでねえ♡
ほれ

ちよいと前まではよお
お前さんとこんな事できるとは
一生無いと思ってたなあ

襲いたくても
腕っ節が強くて
絶対敵わねえんだからな

それがよお



あああ
夢のようだあ♡



絶対他の男にや
渡さねえ
オス

渡さねえぞ
……!!

オラのもんだ
お前さんはオラだけの
女だ

あ……
熱い……

熱い
オークの生殖器

子宮口が開くのを
促すように
何度も何度も
ノックする

ずぬ! ずぬ!

根本まで挿入って

お腹の中を
えぐるように
突き上げて……

ぐわっ! ぐわっ!
ズンズン!

ダメ
そこ……

は。は。
は。
ずんずん!
ずんずん!

リユートの
届かない所

彼とは
違うのに

愛情なんて
欠片もないのに

さらさらな舌

貪るような
荒いキス

ずんずん!

ずんずん!

ずんずん!



ダメ
子宮降りないで

赤ちゃんの種
受け容れようと
しないで

そこは
リゾートの赤ちゃんの
場所だから

オークの赤ちゃん
育てる場所じゃないの！



なのになんて
こんな感じに
感じるの

ちゅんちゅん
ちゅんちゅん

ちゅんちゅん

ちゅんちゅん

ちゅんちゅん
ちゅんちゅん



んなに
気持ちええか
もつと良くして
やるかな

女を
性欲のはけ口にしか
考えていない

繁殖の道具にしか
見てない
最低男なのに

ちゅんちゅん!

ちゅんちゅん!

ちゅんちゅん!

ちゅんちゅん!



嫌……
イきたくない
イッたらまた
射精されちゃう

リゾート
私を守って

ちゅんちゅん

ちゅんちゅん!



絶対
イかない

あー
あー

いー!

あー
あー

いー!

あー
あー

あー
あー

あー
あー

いかな
いかな

は!

は!

あー
あー
あー

あー
あー
あー

あー
あー
あー

本当に
受けたら...

おは
おは

イク時さ
ちゃんと言うだぞ
命を

リユート...
リユート...!

あー
あー
あー

あー
あー
あー

口さ緩んだ子袋に
濃い目一杯
注ぎ込んでやる
かな

あー
あー
あー

あー
あー
あー

あー
あー
あー

あー
あー
あー



お...
お願い...
早く助けに来て
リユート...

私
でないと...

あはあ
あはあ

あなたの側に
戻れなくなる
.....



翌日

オーク村
広場

オークたちはよく
自分のペット自慢をする

ペットの質が
飼い主オークのステイタス
なっているようだ



おお
お姫様だ

近くで見つと
本当にべっぴんだ
なあ♥

奴等は
饒舌に語る

昨日の夜も
ずいぶん遅くまで
楽しんでたなあ？

自分のペットの
容姿・体がどれだけ
男受けするか



甘っとろい声さ
外まで聞こえて
きてたぞ？

ニヤニヤ

処女を奪った時は
どうだったか

性知識のない少女に
どれだけ自分好みの性技を
仕込んだか

すでに孕ませたか
母乳の味はどうか

何度もイカされてたなあ
数え切れなかったよ



あの姫様もすっかり
仕込まれちゃったなあ

ズリネタに
しちまったぜ
ハラハラ

オークとの混血児を
何人産み落とさせる
つもりか……



そんで
今はちゅーとな

おお?
お前エら……

おはよう
ございます
ご主人様♥

もう神様よりも
オラのチ○ホのほうさ
好きになつたみてえだ

朝餉がご用意
出来ましたので
お迎えにあがりました

併せて
朝の熱りを
お鎮め致しますわ

ご主人様は
どうかそのまま
お楽しみに……♥

ワスワス♡
お玉をこんな
重く腫らされて
……
お辛いでしよう

私たちがお口で
すつきりなさって
下さいませ♥

これが
極楽みてえな
心地よさでよ
さすが聖女さまの
ご奉仕だなあ

下半身から先が
別世界だ♥



お好きなきときに
排出なさって下さい
一滴漏らさず
頂戴致しますわ♥



素敵ですわ
ご主人様
なんて遅しく
男らしいのでしよう♥

おちゅ
おちゅ
おちゅ
おちゅ



おちゅ
おちゅ
おちゅ
おちゅ



もちろん
褒美はうんと
してやってると
一日中
たっぷりとな♥

その甲斐あって
二人同時にオラの子
身ごもってな!
出産が楽しみだあ♥

おーやるじゃねえか
見直したぜ!

俺のお気に入りは教授だぜ

ぶっちゃけこの目の仇なんだけとよ

これがクソ生意気な女でよ

俺と闘ったときはトドメもささずゴミを見るような目で去っていきやがった

よく調べたらこの女男嫌いで有名でな

なんて言うんだ？まあ同性愛者だな



テイムしてから数週間あの調子だ

相方を餌にすりやチヨロいもんだったぜ



俺等の仲間にとつかえひつかえ



テメエと同じ男嫌いだっただのになあ？今じゃ見ての通りだ

ククク 処女は俺が食ってやったぜ



お前もすぐに
ああなる

安心しろ
お前は俺だけのペットに
してやる

俺の子供を
何匹も産んで貰うぞ



幸せそうなの
アホツラだろ?!

あれがメスの
正しい姿なんだよ

遅いオスに
種付けされて
ガキを産むことがな

ふざけないで!
あの子を解放して!



ハハハハハハ
表情が
いい



女同士じゃ
子供は作れねーだろ

俺がたつぷりと
男を教えて
やる……!!



涙と母乳垂らしながら
「イかせてください」って
懇願する姿が愉快でなあ♡

そんなに初物が好きか？
穴あきや一緒にやねーかよ

本当の通はなあ



お前等
ガキだなあ

「人妻」だよお



この前
娘を連れて
団らんしている家族を
見かけたんだ

その女が
いい体しててさあ

一目で気に入って
速攻タイムさ



旦那に良い声
聞かせてやれよお!!

その日は丁度
危険日だった
らしくてさ
せっかくだから
初種付けは旦那の前で
してやったよ



イツヒツヒ!
ほらもつとお!

んあ

んあ

旦那は面白かったなア

いいから言えよ
これは「命令」だぞ

許してください
夫には

さつきから
イキまくってる
くせによ

ああ

二れが
おんなを
おんなを

俺より小さなチ○コ
おっ勃ててやんの

オトナのくせに
泣いちやっつてさ
そのくせに

必死に旦那に
操立てようとする姿
止められないよ

人妻はほれたから

この子の
オチ○チンの方が
イイの

私の
気持ち良いところ
全部知られちゃった

ああ……
あなたより
ずっと

ずっと上手いの
気持ちイイの

へっ
いい趣味してやがる
ところで
娘はどうしたんだ?

二れが
アチ○チン
アチ○チン
アチ○チン
アチ○チン

あれねえ

小便くさいガキなんて
俺は興味無いからさ



兄貴にやっつたよ

孕まないし
一回しか
使えないだろ？

どこがいいんだか
聞いてみたんだけど

それが
いいんだとさ



二人には
逃がしたつてことに
しておいたよ



本当のこと話したら
壊れちゃうからね

ベツト想いの
いい飼い主だろ？

とりあえず2・3匹産ませて
飽きるまでは
黙っておくことにしてるよ



酷い

ガハハ...



愛する人や
家族を引き裂いて

己の欲望の
赴くまま……



そーいえば
今月はまだ
来てない
もしかして



私もいつか
受け容れてしまうの？

他の娘たちと
同じように……

あんの
一平さん
たらの



このオークの赤ちゃん
もうお腹の中に——!?

んー？
どうしたただ？
稚児さ腹ン中で
動いたか？



体だけでなく
心も作り替えられて



逢いたいよ







な
何者だテメエは!?



我が愛姫
イルティナ・D・ストリクトを
迎えに参った

邪魔立てするなら
切り捨てるぞ
オークども!



イルティナが
つかまわれ!!

リユート

リユート……!

ドドド
カバエッ、ニヤッ



やっぱり私の
王子様だよ

リユート!!



あーあ
こいつも死んでら



チクシヨウ
派手にやってくれたな
あの騎士

おい
ポバの奴
まだ息してるぞ



んじやコレ
使ってみるか?

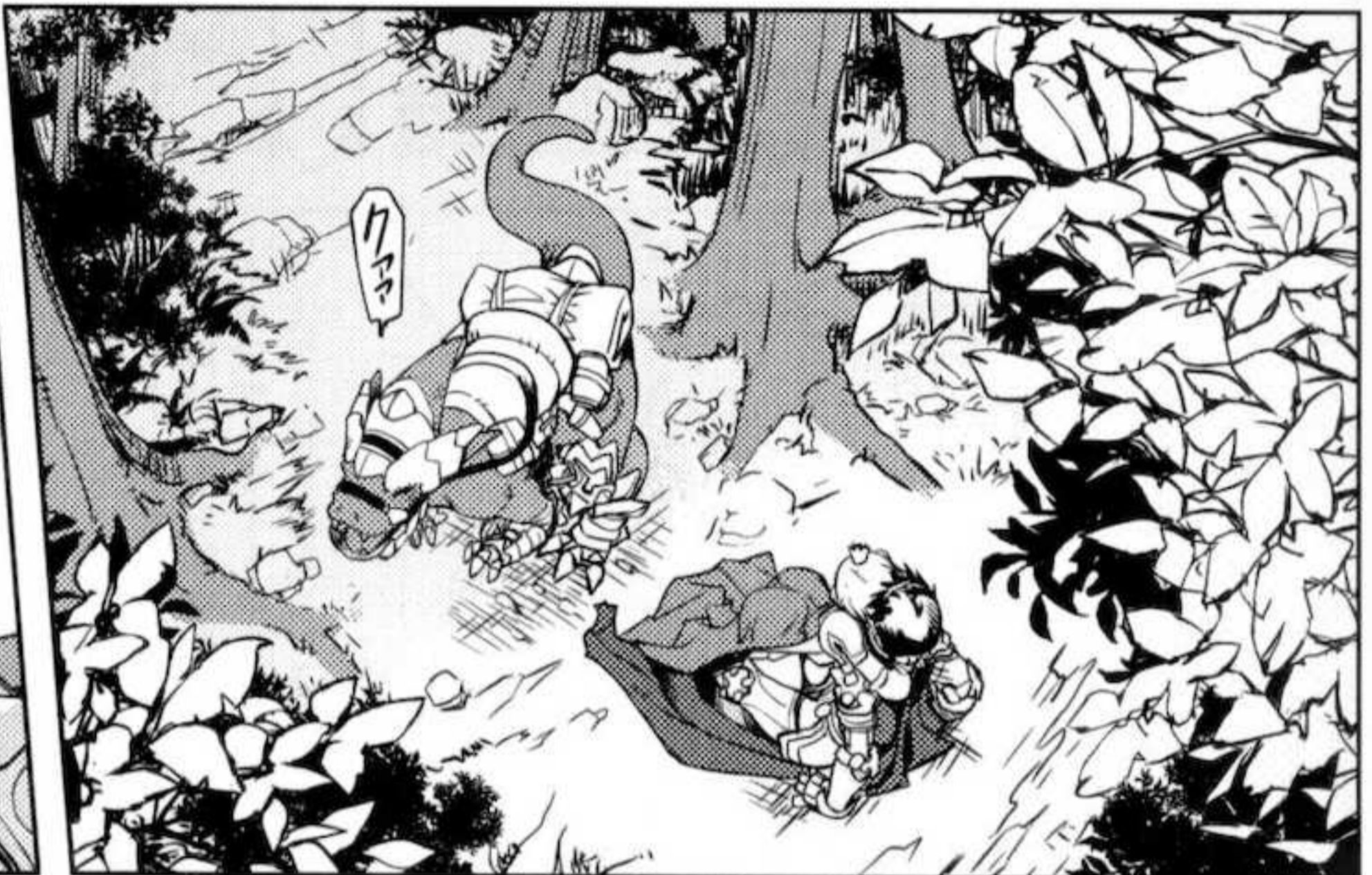
イグダラミの葉

ペットが持っていた
薬草なんだが



イリイ?

もうここまで
来れば大丈夫





ほら
俺を見るんだ

謝らないで



イリイ……



ごめんなさい……

いっばい
汚された……

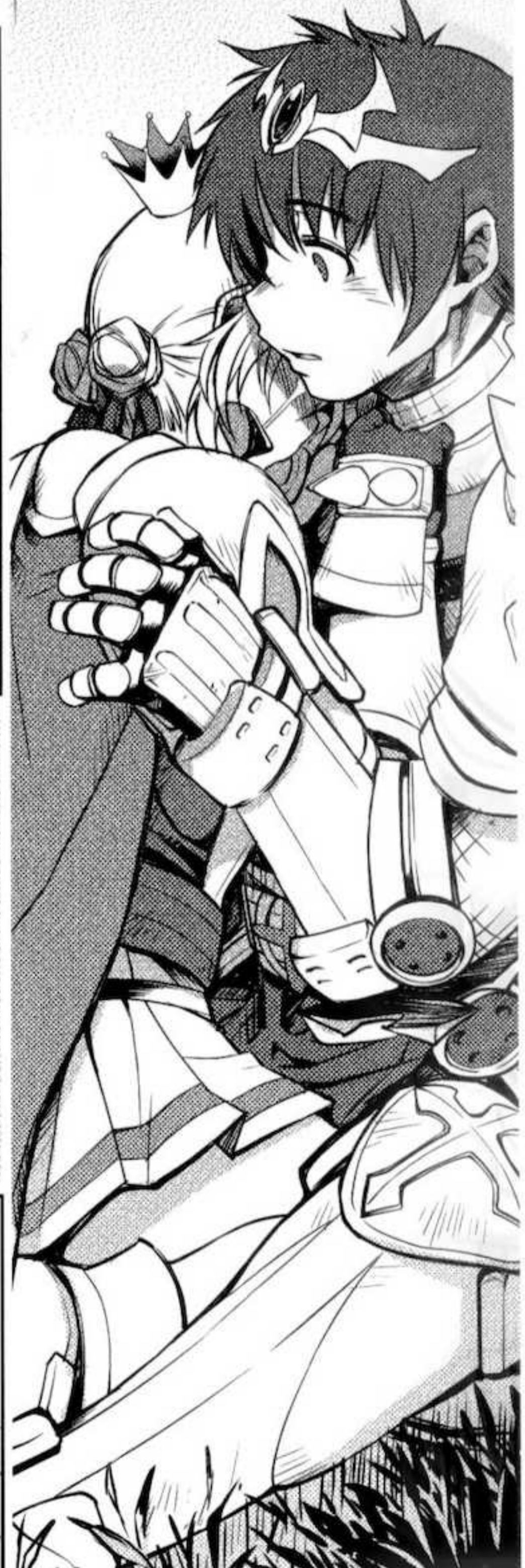


汚れてなんて
いるものか

でもそれだけだ

傷は負ったかも知れない
それは俺の傷でもある
二人で一緒に癒していこう

意地っ張り
おてんばな
俺のお姫様



初めて出会った
あの頃の君
そのままだよ



君に辛い思いを
させてしまった
不甲斐ない俺だけど
まだ
君のナイトで
居させてくれるかい
イルティナ



—アハハ—

リユート……

姫騎士タイム 2
Ragnarok Online Fanbook
presented by Xration/mil
xration.sakura.ne.jp
2012 SUMMER

愛しています



あー死ぬがと思った

むくッ

まったくしぶとい奴ちや

へっへっへ♪ 往生際の悪いのがオラの長所だ

あの傷を塞ぐとはなあ ニンゲンてな すげえ薬草使うんだな



とつくに逃げたよ



この村も引き払わんといけねえなあ ニンゲンの討伐隊がやってくるぞ



なあに 大丈夫だあ



カサ

いざって時の
保険は
掛けてあんだ♪



スロットの回転が
止まる前に
破壊しないと



どうしたんだ
離せ!



あれ
私何を




からだ
が
体
が
手
が



タイム
成功だ♪

— 続 —



～あとかき～

ここまで読んで頂きありがとうございました！
拙作「姫騎士ティム」の続編でございました。
前作をご存じであれば、「なんで今更?!」と
思っらっしゃる方がほとんどだと思います(;´∀`)

2009年ですからねえ。つまり3年前……
え、3年間何してたのわたしや……

実は続編は最初から予定してました。
ここに掲載したカットがその証拠です。
そして落ちたんですねー、原稿(汗
それから紆余曲折ありまして、ようやく
形になりました。な、長かった。

このお話はもうちょい続きがあります。
次は3年もかからないようにします！
ではでは。ノシ

2012/7/24
mil

Xration



<http://xration.sakura.ne.jp/>

姫騎士ティム2

発行者: mil/Xration

発行日: 2012/8/12

印刷 : コーシン印刷

URL : xration.sakura.ne.jp



